虹

東村立 高江小学校
学校便り【虹】
2021年1月22日
発行責任者 校長 宮城達也

琉球新報に掲載されました！

昨年末に見事な柿の実が学校に届きました。贈り主は岐阜県在住で中部大学准教授の竹島喜芳先生です。竹島先生は19歳の時に徒歩で沖縄本島を縦断した際の、当時の高江小中学校の児童生徒との出会いと体験を、35年経った今でも忘れずに毎年柿の実を贈ってくれています。そのエピソードが新聞記事で紹介されましたので転載します。お礼を兼ねて連絡したところ、先生が大学で森林や環境問題を専門に研究されていること、若いころからいろいろな事を経験したり、様々な場所を旅したりして生き方や考え方を深めてきたことが分かりました。そこで高江小学校の児童にもぜひ講話をして頂きたいと申し出たところ、快く引き受けて下さり、1月28日(木)にリモートでキャリア講話を右下の通り実施することになりました。保護者・地域の方々もぜひご参観下さい。また35年前のエピソードを覚えていらっしゃる同窓生や地域の方がいましたら、ぜひともご連絡お願いします。

琉球新報　2021年（令和3年）1月18日　月曜日　市町村（24）

美ら島だより

岐阜から「恩返しの柿」
竹島さん、高江小に10年

【東】東村立高江小学校の児童らにこのほど、岐阜県から柿の贈り物が届いた。送り主は竹島喜芳さん（54＝岐阜市在住）で、35年前に訪れた旧高江小中学校の子どもたちとの交流をきっかけに、2011年から高江小学校に柿を贈り始め、今回で10回目を迎えた。

竹島さんは当時19歳だった35年前、沖縄を歩いて旅していた際に東村に滞在した。村内で1泊した翌朝、村内を歩いていると激しい雨と雷に遭遇。心細くなっていたところに見つけた「スクールゾーン」の表記をもとに、旧高江小中学校にたどり着いた。

体育館で雨宿りをしていたところ、教員の計らいで子どもたちと給食を食べることになった竹島さん。雑談をしながら、つかの間の交流を楽しんだ。

2011年11月、「食べ物でいただいた恩を食べ物で返したい」との思いから旬を迎えていた柿を贈り物に選び、自らの手で同校に届けた。それから毎年柿を送り続けている。

竹島さんは「柿を送ることで当時を思い出し、温かい気持ちになる」と語り、「高江小の子どもたちが大きくなったとき、他の人にもうれしい気持ちを伝える考えを知ってほしい」と語った。宮城達也校長は「これからも交流を続けていければうれしい」と話した。（下地陽南乃）

柿を手に笑顔を見せる高江小学校の児童ら（宮城達也校長提供）

竹島 喜芳 先生

竹島先生から高江小学校児童へのメッセージ

高江小学校の皆さん

2020年12月8日

岐阜市在住　竹島喜芳

高江小学校の皆さん、こんにちは。今年に入って新型コロナウィルスでいつもと違う学校生活になってしまいましたね。ボクは愛知県で中部大学という学校で先生をしているけど、いまも授業はインターネットですることがほとんどで、今年はいつもとまったく違う年になっています。

学校はいつもと違うけど、季節はめぐって、またいつものようにカキの季節がやってきました。今年は昨年につづき、本土は，とても暑かったので、柿が実るのがいつもよりおそかったです。いまから10年くらいまえに、柿を届けにいったときは、2011年11月4日でした。地球があたたかくなっているせいかな？（くだもの屋さんは、そういいますが）、柿が実るのがだんだんおそくなっています。

昨年，お手紙ありがとう。息子と沖縄に遊びにきてくださいとかいてくれてありがとう。ボクの息子の光洋（こうよう）も2歳になりました。毎日元気にちかくの川原や神社を走り回っているので、いつかヤンバルの山や海や川をみせたいと思っています。いつかいけたらな　と思っています。

学校だよりを読みました。夏にお友達3人が引っ越ししたんだってね。さみしくなっちゃったけど、運動会の様子の写真なんかをみていると、近くの人たちと いっしょ に楽しく元気な学校せいかつをおくっていることが伝わってきました。そして、35年前のことを思い出しました。

運動会をいっしょにした人たちの中には、ボクが 19 歳で沖縄を歩いて旅をしていたとき、高江小学校でいっしょに給食をたべた友達がいるのだろうね。いまから、35年くらい前のことだから、その友達たちは、いま41才～47才くらいになっているかな。

あの日（35年くらい前のボクが、高江小中学校で給食を食べた日）は、春の朝の大雨とカミナリですごい天気の日だった。ボクが前の日にとまった東中学の前の　こうみんかんのような建物（みなとでテントをはっていたら、こうみんかんみたいな建物をあけてくれて、ここで寝たらいいよといってくれた）を出たときは、くもりだったけど、途中から雨とカミナリがすごくなった。いままで けいけん したことない ひどい あらし だった。けど、雨やカミナリをさけるための建物もなく、ずぶぬれになって　あるき続けたよ。そしたら、道にスクールゾーンと書いた字をみつけたんだ。そして、走って ついたところ が高江小中学校。ボクはぬれてしまったリュックの中の服やカメラを かわかしながら　雨がやむのをまっていたよ。そしたら、給食の時間に友達が「おにいちゃん　先生が給食いっしょにたべないか　っていってるよ」とボクに声をかけてくれた。ボクは「乾かしているものをしまってから、教室にいくね」というと、友達は「おにいちゃん　ここは誰もとる人いないから　そのままでいいよ」と教えてくれた。

運動会の写真をみて、皆んなの楽しそうな気持ちがボクにつたわり、いまでは大人になったあの友達と高江のすてきな人たちを思いだしました。

そんなことから、給食でおせわになったので、なにか食べるものであのときの かんしゃの気持ちを伝えたいなぁと思って、毎年この季節がくるのを楽しみにしています。柿が実るのを見ると、高江の人たちの温かい気持ちを思い出して、楽しくなります。

ところで、ボクは沖縄を思い出すために、最近やっと沖縄そばのメンを自分でつくれるようになりました。まだまだ練習がたりないけど、近ごろはメンをつくりながら沖縄を思い出します。

これから寒くなるけど（なるかなぁ）、コロナや風邪には気をつけて元気にべんきょう、うんどう、あそび　にがんばってください。

竹島喜芳
12/8

キャリア講話　日程

1．日時　　令和３年１月２８日（木）
2．講師　　中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンター
　　准教授　竹島喜芳 先生
3．当日の流れ〈予定〉
　◇１０：３０～　あいさつ・自己紹介
　◇１０：３５～　講話１【学生時代・沖縄旅行・高江小との出会い〈仮〉】
　◇１１：０５～　質問タイム・感想発表
　◇１１：３０～　講話２【環境問題への取組～世界は広いよ～〈仮〉】
　◇１２：００～　質問タイム・感想発表